

歳入(一般会計)構成の推移

年度 区分	60		平成7		17		27		29		30		令和元		2		3		
	昭和50		50→60 平均伸率		60→7 平均伸率		7→17 平均伸率		17→27 平均伸率		27→29 平均伸率		29→30 平均伸率		29→元 平均伸率		元→2 平均伸率		2→3 平均伸率
税収	137,527 (64.0)	381,988 (70.7)	10.8	519,308 (64.5)	3.1	490,654 (55.1)	▲ 0.6	562,854 (55.1)	1.4	587,875 (56.7)	2.2	603,564 (57.1)	2.7	584,415 (53.5)	▲ 3.2	551,250 (31.4)	▲ 5.7	574,480 (53.9)	4.2
その他収入	24,402 (11.4)	34,857 (6.5)	3.6	73,794 (9.2)	7.8	86,658 (9.7)	1.6	109,716 (10.7)	2.4	113,020 (10.9)	1.5	109,456 (10.4)	▲ 3.2	141,390 (13.0)	29.2	80,088 (4.6)	▲ 43.4	55,647 (5.2)	▲ 30.5
公債金収入	52,805 (24.6)	123,080 (22.8)	8.8	183,959 (22.8)	4.1	312,690 (35.1)	5.4	349,183 (34.2)	1.1	335,546 (32.4)	▲ 2.0	343,954 (32.5)	2.5	365,819 (33.5)	6.4	1,125,539 (64.1)	207.7	435,970 (40.9)	▲ 61.3
合計	214,734 (100.0)	539,926 (100.0)	9.7	805,572 (100.0)	4.1	890,003 (100.0)	1.0	1,021,753 (100.0)	1.4	1,036,440 (100.0)	0.7	1,056,974 (100.0)	2.0	1,091,624 (100.0)	3.3	1,756,878 (100.0)	60.9	1,066,097 (100.0)	▲ 39.3

(注)

1. ()内は構成比である。
2. 令和元年度以前は決算額、2年度は第3次補正後予算額、3年度は予算額である。
3. 公債金収入は、平成7年度は消費税率引上げに先行して行った減税による租税収入の減少を補うための減税特例公債を除いている。
4. 令和元年度及び2年度の計数は、「臨時・特別の措置」を含むものである。